

## PSIO新ポスターが完成

## HPからダウンロードを要請

不正対策室会議(室長・伊東慎吾  
常務理事)が11月22日開かれ、PS  
IO(不正対策情報機構)の新しい  
ポスターの完成が報告された。P  
SIOが本格運用を開始したのが  
2001年10月1日で今年の9月  
で10年の節目を迎え、入力情報も  
ちようど4万件をマークした。こ  
れを機に新しいポスターの制作が

決まり3社9点の中から選ばれた  
作品が11月1日よりPSIOホー  
ムページのバナーからダウンロー  
ド出来るようになった。PSIO  
は、各関連団体が「会員、組合員  
の皆様がダウンロードし、掲示」  
する通知を発するよう要請してい  
る。全日遊連をはじめ各団体です  
でに通知が行われている。

10月分のオープンネット(業界、  
一般からの不正情報)への入力は8  
39件となり、昨年同月より10  
6件増えた。ゴトに関してはミリ  
オンゴッドへの攻撃について情報  
交換され、不正情報については中  
古機流通、機械の挙動不審などに  
ついて討議された。

## メダル工業会が総会

遊技場メダル自動補給装置工業

会は11月11日、東京・新橋の第一  
ホテル東京で通常総会を開き、第  
23期(11年10月~12年9月)の事  
業計画等を承認した。事業計画で  
は販売に関する事業に関して、「経  
営合理化、不正防止等に寄与する  
ことを目的としたメダル自動補給  
システムのさらなる改良・開発・  
品質保持・普及向上に努め、各種  
器具の共同販売事業を行う」とし  
ている。来期の器具販売について  
は、「パチスロは回復基調にある  
が、不透明な経済情勢と行政によ  
る広告・宣伝規制など業界を取り  
巻く環境は厳しく、高望みはでき  
ない」として、前期比プラス30%  
を予測している。

## 3月にも東京で

## 店長等講習・試験

ホールの運営を経営者(会社)か  
ら任せられた店長や店長候補者に、  
健全な営業に資する心構え・知識・  
技能等を身につけてもらうため、  
日遊協が関係団体の協力を得て行  
う店長等講習・試験が、来年1月  
25日に続いて3月7日にも東京で  
行われる。

内容は、業界の現状と将来展望、  
管理者の役割と能力の開発、マー  
ケティング戦略概論、コンプライ  
アンス基礎知識、風営法、正誤択  
一試験——となっている。日遊協  
会員以外の企業からの受講も歓迎  
する。

〔東京会場〕12年3月7日(水)

日遊協本部会議室

午前10時開始、午後5時前終了。  
受講・受験料は日遊協会員1万7  
200円、会員以外2万2450  
円。希望者は申込用紙に記入して  
日遊協事務局に申し込む。申込用  
紙は日遊協ホームページ、または  
「店長等講習」チラシのFAX申  
込書で取り寄せられる。定員に達  
すると締め切る。

パチンコ・パチスロ  
**不正許さず**  
情報はずぐ【PSIO】へ送信

PSIO

携帯電話でも、パソコンでも  
<http://psio.jp/>

PSIO 協議会事務局 FAX.03-3553-4334 〒104-0033 東京都中央区新川 2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル 2F

新しいPSIOのポスター



セキュリティ対策委員会

行方不明機械の把握へ QRコードの利用など検討

第57回セキュリティ対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）は11月30日、日遊協本部会議室で開かれ、闇スロ、闇パチ業者への機械流出を防止するための当面有効なシステムを協議した。

ホールから外された後、中古機流通に流れず、倉庫に保管もされず、闇業者などに流されて行方不明になっている機械を掌握するた



行方不明機械の掌握で当面の方策を協議したセキュリティ対策委員会

め、将来的には新しいICTタグ等を活用した方法が検討されているが、それが実現するまでの間の行方不明機械の掌握法として、撤去遊技機詳細書の活用などいくつかの案が出された。全商協、回胴遊

商の両販社団体がQRコードを利用した掌握システムのたたき台をつくることになった。

全日遊連が協力呼びかけ

ゴト情報の共有化を

全日遊連は11月18日、日遊協などホール団体に対して「ゴト情報の共有化について」と題する文書を発し、ホール5団体でゴト情報を共有化するよう協力を呼びかけた。

全日遊連では組合員店舗などからのゴト情報をもとに、当該メーカーに対して発生したゴト事案の検証・対策を要望している。ゴト情報の数はメーカーがゴト対策を実施するための重要な判断基準であり、的確なゴト対策を実現するためにも必要だが、最近、全日遊

連のゴト情報の報告件数が減少傾向にある。

ゴト情報をホール5団体で共有する仕組みをつくることで、全日遊連としては対策実施に向けた当該メーカーとの交渉をより円滑に行えるようになり、各団体も加盟企業に対して充実したゴト情報が発信できるとしている。また、全日遊連からは組合員店舗に発した

ゴトの注意喚起文書やゴト対策の実施に関する文書も各団体に提供するとしている。ゴト情報の共有化については、10月のセキュリティ対策委員会にて提案され、前向きに検討することで一致していた。

冬場の車内放置対策も

全日遊連は11月28日、「年末年始に向けた『子供車内放置事故防止対策』の徹底について」と題する文書を傘下の都府県方面遊協に発し、冬場の事故防止を訴えた。

冬場は気温低下による凍死、車内に残された子どもがアクセルやパワーウインドーをいたずらすることなどで事故に至るケース、第三者による誘拐等、様々な事案が予測されるとしている。

事故防止対策として、①お子様

連れの入場をお断りする旨を、駐車場やホール入り口にはっきりと表示する ②定期的な店内放送でお客様に注意喚起する ③駐車場で巡回チェックを定期的・実効的に行う ④広告宣伝用の折込チラシにもお子様連れの来店をお断りする旨を必ず入れる——の4点の励行を挙げている。

上半期立入1430店

健全化推進機構が社員総会

一般社団法人遊技産業健全化推進機構（河上和雄代表理事）は11月8日、東京・飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで臨時社員総会を開き、2011年度の各社員（14団体）の拠出金額を可決した。既に3月の臨時総会で総額4億2000万円の予算が決まっていたが、今回の決議で総額4億1572万円の負担となった。

11年度上半期（4月1日から9月30日）の立入検査は、全国49都府県方面、1430店舗で行われたことが報告された。検査はほとんど営業時間中に行われ、立入拒否はなかったが受け入れ等に問題があった事案が複数発生したことから、再度注意喚起を行うことになった。



## 約20業者を再実査 初期に選定された業者対象

第55回遊技機リサイクル推進委員会(座長・篠原弘志)日遊協専務理事)は11月21日、日工組会議室で開かれ、リサイクル選定業者の再実査を協議した。その結果、初期の1999年(平成11年)から2002年(同14年)までに選定された約20業者を対象に、現在の選定基準で実査し直すことを決めた。再実査は推進委員会を構成する全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商が2団体一組で年2回程度、年間6業者以上を対象に行ないたいとしている。



全日本遊技事業協同組合連合会理事長の原田實氏(写真)が、2011年秋の褒章で藍綬褒章を授与された。11月11日、皇居で褒章伝達式が行われ、天皇陛下

## 原田全日遊連理事長に藍綬褒章

全日本遊技事業協同組合連合会理事長の原田實氏(写真)が、2011年秋の褒章で藍綬褒章を授与された。11月11日、皇居で褒章伝達式が行われ、天皇陛下の選定については、現在は推薦・申請受理・審査基準として「会社の信頼度」「提携先の信頼度」「処理実績」「委託業者の信頼度」などを設け、推薦団体が事前調査を行ってから申請が行われているが、02年以前は選定業者数の確保を優先し、団体の推薦もないなど現在のような厳密な審査が行われていなかった。

## 交際などしない宣言 暴力団追放都民大会

第20回暴力団追放都民大会が11月10日、東京・日比谷公会堂で開かれ、東京都遊技業協同組合など28職域団体、東京駅地区暴力団等

業者の選定については、現在は推薦・申請受理・審査基準として「会社の信頼度」「提携先の信頼度」「処理実績」「委託業者の信頼度」などを設け、推薦団体が事前調査を行ってから申請が行われているが、02年以前は選定業者数の確保を優先し、団体の推薦もないなど現在のような厳密な審査が行われていなかった。

## プロバ社員決起大会

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等の娯楽施設を展開するプロバグループ(平本直樹社長)の第15回社員決起大会が11月2日、同市の広島センチュリー21ホテルで開かれ、社員175人が参加した。今回のテーマは「紡ぎく50周年にむけて、みんなの夢・想いを一つにしよう!」。平本社長の挨拶、永年勤続・店舗・個人表彰、最優秀店舗の活動報告などの後、「50周年への想い」発表会が開かれた。最後に「想い」を未来に繋げるためタイムカプセルに収めた。

「50周年」は13年9月～14年8月の期間で、今回はそれに向けたスタートとして企画された。

## 6年で相談6000件 リカバリーサポート・ネットワーク

「50周年」は13年9月～14年8月の期間で、今回はそれに向けたスタートとして企画された。ばちんこ依存問題の相談機関であるリカバリーサポート・ネットワーク(RSN)への相談件数が今年9月で6000件を超えた。RSNは2006年4月から電話相談ラインを開設し、今年で6年目を迎えており、相談件数は年々着実に増えている。これはポスター、講演、セミナーなどによるPR活動により、認知度が高まったことも大きな要因とみられる。今年10月の電話相談は84件。はじめて相談する人が72人(86%)で、男性が60%を占めていた。本人からの電話は56人で、30代が19人と最も多かった。「金を使いきるので止めたのだが、どうしても行ってしまう」「夫がパチンコで借金を続け、生活が不安なので止めさせたい」といった相談が多く、RSNでは内容に応じて医療機関やキャンプラズ・アノニマス、精神保健福祉センターなどの紹介もしている。



## 塩竈署が日遊協に感謝状

東日本大震災の発生以来、おもに海上での行方不明者の捜索を連日行っている宮城県塩竈署は11月20日、支援や激励をしてくれた団体等を招いて感謝状贈呈式を行い、日遊協からは篠原弘志専務理事が出席して感謝状を受けた。

日遊協が招かれたのは、3月29日に深谷会長ら6人の調査チームが仙台市の社会福祉法人などに支援物資を届けた際、庁舎の損壊被害に遭いながら行方不明者の捜索活動で苦闘している同署に立ち寄り、激励したことによる。

## 木原二雄氏編が二冊に

### 「パチンコ文化史」

広報誌「日遊協」では、2011年3月号から8月号まで「パチンコ文化史」の中で、遊技場自動サービスマシン工業会木原二雄理事長（大都販売代表取締役会長）の半生を特集した。このたび大都販売から、この連載をまとめた本（A4判37ページ）が発行された。ご希望の方は大都販売（営業本部）03・5688・2111（代）までお問い合わせください。

## 事務局・貝川涼子さん退職

研修係長として遊技機取扱主任者講習・試験の運営に携わってきた貝川涼子氏が、11月30日付で退職した。先立つ同月8日、日遊協事務局で深谷会長から表彰状が贈られた。貝川氏は1992年1月から約20年間勤務し、協会の活動に大きく貢献した。

## 会員・業界消息

### 住所変更

▼日本電動式遊技機工業協同組合  
東京都台東区東上野4・8・1  
TIX TOWER UENO9F  
TEL03・58226・0777  
FAX03・58226・0799  
11月7日

▼株式会社 近商  
大阪市浪速区元町3丁目2番4号  
ナンバ88  
11月1日

▼本社移転  
大丸商事株式会社  
山梨県甲斐市竜王1238  
TEL（管理部）  
055・260・7755  
FAX（管理部）  
055・260・7715  
11月21日

▼商号変更  
株式会社ソツケイ  
（旧・株式会社まさむら遊機）  
10月17日

▼FAX番号変更  
▼有限会社ビックリヤ  
総務部・営業推進室  
FAX03・5813・8485  
11月9日

▼新規入会（賛助会員）  
株式会社アーク  
代表者・田中淳  
北九州市八幡西区黒崎1・12・19

▼株式会社バック・エックス  
代表者・井手誠三  
東京都港区赤坂4・7・14  
赤坂進興ビル3F  
11月17日

## DATASPOOT

### 同じ約5万7000台。パチンコ減、パチスロ増

全日遊連は11月16日、店舗数、遊技機台数の2011年10月分を発表した。店舗数は前月に比べると19店も減り、1万1318店、6月から維持していた1万1330台を割り込んでしまった。昨年10月と比較すると221店減と傾向は変わらない。

遊技機では、パチンコが前年比でマイナス5万7761台（昨年10月293万2592台）パチスロ機はプラス5万7511台（昨年10月126万3043台）となり、ちょうど約5万7000台の出入りになっている。パチンコ機は9月に微増したが、10月に入り前月比で7401台と落ち込みに戻った。＜注＞店舗数、および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する

### 野玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	208	0
東北	489	+2
東京	461	+1
関東	1341	+13
中部	385	+3
近畿	688	+39
中国	248	+3
四国	117	+2
九州	573	+1
全国計	4510	+64

（2011年10月31日現在）

### 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成23年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,517	18	22	89 (18)	2,931,322	1,281,903	156	4,213,381
2月	11,489	9	24	99 (19)	2,925,109	1,282,441	156	4,207,706
3月	11,362	6	36	192 (104)	2,893,024	1,280,067	156	4,173,247
4月	11,341	35	30	208 (75)	2,885,042	1,288,051	156	4,173,249
5月	11,341	4	24	189 (5)	2,886,817	1,290,869	156	4,177,842
6月	11,331	12	40	173 (15)	2,885,655	1,295,214	156	4,180,025
7月	11,336	17	15	172 (14)	2,883,262	1,300,321	156	4,183,739
8月	11,338	27	33	165 (15)	2,881,110	1,310,279	156	4,191,545
9月	11,337	14	20	159 (5)	2,882,232	1,315,080	156	4,197,468
10月	11,318	10	29	158 (14)	2,874,831	1,320,554	156	4,195,541



## 第2位 日遊協支部がボランティア派遣

被災地の宮城県石巻市、岩手県陸前高田市へ日遊協7支部がボランティアを波状的に派遣した。4～11月まで計18回、189人(会員以外で参加の20人含む)が出動した。作業の大半は瓦礫・汚泥等の搬出、清掃だったが、炊き出しも行われた。このほか、会員企業も個別に支援活動を行った。



泥にまみれた作業が続く

## 第3位 東北会員の被災。 業界全体で緊急対策確認

東日本大震災は、日遊協の会員にも大きな被害が出た。津波による全壊や浸水、原発事故での立入禁止区域等のため、営業中止などの店舗が多数出た。

大震災5日後の3月16日、パチンコ・パチスロ産業21世紀会が業界全体の緊急対策(各種の自粛・自制、義援金)を確認した。

## 第4位 総付景品等のガイドライン

ホール5団体が自主的に「総付景品等の提供に関するガイドライン」を作成、11月から施行された。総付景品等の提供が著しく射幸心をあおるおそれのある行為とならないようとする目的。内容が各種法令・通達をクリアしており、行政当局の指導の判断材料となることが考えられている。

## 第5位 ぱちんこ&パチスロフェスタ

一般ファン等に遊技の楽しさを再確認してもらうため、「ぱちんこ&パチスロフェスタ2011」が2月26日、東京・すみだ産業会館で開かれ、現役ファンから初心者まで約650人が詰めかけた。コンセプト機や遊パチタイプなど計85台が集められた。ファンによる試打と意見収集、「遊技機アワード2011」の表彰式が行われた。

## 第6位 ホール5団体の風営法検討会

ホール5団体風営法検討会が1月17日以降に随時開催された。1月27日のパチンコ・パチスロ産業賀詞交換会でも、風営法改善へ「ホール5団体宣言」が発せられるなど、行政と連携して法令及び運用を検討する動きが出てきた。現在、検討会ではホールが申請する書類、とくに遊技機関連の書類の簡素化についての検討を行なっている。



フェスタでコンセプト機を展示





店の前に休業日を掲示

## 第1位 夏季節電と輪番休業

夏季節電に関して、ホール5団体は業界の社会的責任を果たすため、7～9月の3か月間、東京電力管内で25%以上、東北電力管内で20%以上の電力削減を整然と実施した。具体的には東京電力管内で平日月3回以上、東北電力管内で2回以上の輪番休業と、空調や内外の照明などの削減を行い、目標値を上回る成績をあげた。

## 第7位 ネットチラシのサイト開設

ネットを使った新しい広告媒体として、「パチンコのチラシ Pwored by Shuhoo!」サイトが開設された。日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成する「パチンコインターネット広告協議会」により業界の自主的なガイドラインがつけられた。

# 11年日遊協

# 「未曾有の震

恒例の2011年・日遊協の10大ニュース(日遊協単独か日遊協が関係した業界の出来事)を、11月中に開かれた理事会と専門委員会の出席者等に投票していただいた。11年は東日本大震災という空前の大地震と大津波、それに誘発された福島原発事故が起きた。被災地の復旧・復興に役立ちたいと願う思いやりの行動が国内外でわき起こる一方、放射能拡散の恐怖と電力危機の心配が国中を支配した。日遊協10大ニュースも上位は大震災関連で占められた。

## 第8位 エッセー・絵手紙コンクール

「第1回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の入賞者が5月に決定、最優秀賞、優秀賞受賞者が6月の日遊協通常総会に招かれて表彰された。第1回の応募数は1196編(エッセー663編、絵手紙533編)だった。第2回コンクールは11月1日から来年2月末日まで募集中。

## 第9位 皇居勤労奉仕

昨年に続き、皇居勤労奉仕団が9、10月の2回、皇居と赤坂御用地で4日間の勤労奉仕を行い、天皇、皇后両陛下、皇太子殿下からお言葉をいただいた。9月は深谷会長以下20人、10月は福井章近畿支部長以下16人だった。

## 第10位 第5回マネジメントカレッジ開催

第5回遊技産業マネジメント・カレッジが11月18、19日、川崎グランドホテルで開催された。今回の研修テーマは「業界の未来を担う人材・ユーザーの開拓」。遊技産業各業種の中堅管理職65人(31社)が参加した。



討議に集中するマネカレ

## 11位以下のおもなニュース(発生順)

- 民主党の遊技業法案でパチンコ・パチスロ産業21世紀会開催(昨年12月)
- 日遊協通常総会で11年度事業計画等を承認(6月)
- 人材育成フォーラムが6、9月に開催。
- 九州支部で「夏の電力不足対策説明会」(7月)
- 取扱主任者に関する規程を改正(7月)
- 北海道支部など共催の「健全営業推進セミナー2011」(10月)

(注)対象となるニュースは、昨年12月から今年11月まで1年間、日遊協単独か日遊協が関係した業界の出来事の中から、あらかじめ広報誌編集部が項目を抽出し、投票者はそれを参考に順位を付けずに10項目を選んだ。投票者は73人だった。



# 行政・業界 この1年の 動きは

2011年  
広報誌掲載月別

## 2月号

パチンコ・パチスロ産業21世紀会(14団体)が1月27日、4回目の賀詞交換会を開いた。

## 3月号

### 課長補佐に玉川達也氏

警察庁は、長官官房国際課補佐に転出した近藤裕行生活安全局保安課課長補佐の後任に、玉川達也長官官房総務課課長補佐を発令した。(2月25日付)

## 4月号

### 警察庁が東日本大震災で 節電、申請自粛など要請

警察庁は3月16日、「平成23年東北地方太平洋沖地震に伴う協力要

## 5月号

請について」と題する通知を発し、施設の徹底した節電、各種申請等の自粛等で協力を要請した。同じく24日、被災店舗等の防犯対策を講じるよう要請を発した。

警察庁は「平成22年における風俗関係事犯等について」(風営白書)を公表した。2010年12月末現在の全国の風俗営業の営業所(7号営業)のうち、パチンコ関連の営業所数は1万2479店舗で、前年同期より1・4%(173店)の減。営業所数としては15年連続の減少となった。

警察庁は4月7日、「遊技客か

ら寄付された「募玉」の取扱いについて」と題する見解を示した。「募玉を遊技客が寄付し、その数量に対応する金額を店が義援金として遊技客名義で寄付することは風営法に抵触するおそれがある」とし、同額現金を店の営業利益から店名義で寄付することは問題とはならないとしている。

### 石原都知事の業界批判に 都遊協が訂正の要請文

石原慎太郎東京都知事が4月11日の会見でパチンコの使用電力を誤解して批判発言し、都遊協が発言の訂正を求める文書を送った。同知事は15日にも「べらぼうな電力を使っているパチンコ店は真夜中にやればいい……」と発言、ホール5団体が業界の節電取組等を説明し、現状を十分に理解、認識した上での発言を要請した。

## 6月号

〔役員改選〕同友会は松田高志氏を代表理事に新任した。日工組・市原高明理事長、回胴遊商・伊豆正則理事長、余暇進・宮脇福介代表理事、PCSA・加藤英則代表理事が再任された。

## 7月号

### 警察庁が2つの通知出す 広告・宣伝と1m規制で

警察庁は6月22日、「ぱちんこ営業における広告、宣伝等について」「ぱちんこ営業の営業所の構造及び設備について」と題する2つの通知をホール5団体に発した。「広告・宣伝に関して運用方針を見直して規制基準を明確化し、取扱いの公平化を図った。営業所の構造・設備に関していわゆる『1メートル規制』について実態を踏まえた改善措置を行った」としている。



警察庁は6月2日、「夏季の省エネルギー対策への協力について」と題する文書を発した。国・地方公共



団体・事業者及び国民が一体となった省エネ推進が求められていることを踏まえ、会員企業に対する省エネ推進の周知・協力を要請した。

### 推進機構が計数機検査へ

遊技産業健全化推進機構は6月7日の社員総会で、新年度事業計画等を承認した。新年度は計数機検査を開始し、遊技機検査では悪質巧妙化する不正改造手口に対処するためレントゲン検査等を含めて行うことから、立入検査の目標を1800店舗に置いている。

〔役員改選〕全商協は中村昌勇氏を会長に、P.S.Aは小堀豊氏を理事長にそれぞれ新任した。日電協・里見治理事長が再任された。

### 8月号

### 駐車場放置の死亡事件で警察庁が「5団体」に要請

警察庁は7月27日、ホール5団体に対し「駐車場における児童の車内放置事案の防止について」と題する要請を發した。同月25日、石川県輪島市で30代の夫婦が、パチンコ店の駐車場に停めた車に1歳の長女を午前10時半ごろから午後3時ごろまで約4時間半放置し、

熱中症の疑いで死なせてしまった事件を受けてのもの。

### 9月号

### 大台割って19兆円台に7年連続で市場規模縮小

公益財団法人日本生産性本部は「レジャー白書2011」を發表した。2010年のレジャー市場は、人口減少と高齢化が進む中でランニング・自転車ブームが続き、映画なども好調だった一方、市場規模の大きいパチンコ・パチスロは前年比8%マイナスの19兆円台で、7年連続の落ち込みとなり、余暇市場全体の低迷にも影響した。

### 生活安全局長に岩瀬充明氏

警察庁は、警視總監に転出した樋口建史生活安全局長の後任に岩瀬充明警視庁副總監・犯罪抑止対策本部長事務取扱を發令した。(8月5日付)

### 10月号

### 暴力団排除条例が全国で10・1から東京、沖縄も

暴力団排除条例が10月1日、東京都と沖縄県で施行され、全都道府県で出そろった。一般市民に対

して暴力団とのかかわりを規制した条例で、規制対象として

- ①「暴力団関係者」(暴力団員に加え暴力団員と密接な関係を有する者で通常「密接関係者」といわれる)
- ②「規制対象者」(暴力団員に加えいわゆる暴力団の威力を常時ちらつかせている者、暴力団の威力を利用する見返りに利益供与をする者)——としている。違反への措置には勧告と公表がある。

特定非営利活動法人リカバリサポート・ネットワーク(RSN)の第2回通常総会及び第4回理事會が開かれ、2010年度の事業報告、11年度の事業計画等を承認した。10年度の相談件数は1185件で前年より10%減だったが、データベースの完全確認、携帯サイトの創設などの成果をあげた。11年度はメール相談を新設する予定で検討中。

遊技産業健全化推進機構の計数機検査で異常な計数結果となる事案が続き、原因として長期間メンテナンスを怠ったことによるセンサーの誤作動が推測された。機構は9月22日にホール5団体と自工会に、計数機のチェックやメンテ

ナンスの実施を周知徹底するよう要請した。

### 11月号

### 適切な賞品提供で通知

警察庁は10月6日、ホール団体宛に「ぱちんこ営業における適切な賞品提供の徹底について」と題する通知を發信した。「一部都道府県のぱちんこ店において、(風営法等に定める)等価交換規制に抵触する不適切な賞品提供を行っている実態が見受けられたところであり、このような行為は、ぱちんこ営業が、健全な遊技として存在する上で、排除されなければならないものである」と強調した。

### 12月号

### サイバー犯罪で注意喚起

警察庁は10月27日、「サイバー犯罪等に関する注意喚起について」と題して、情報セキュリティ対策の周知徹底を要請した。「インターネットでの違法情報の掲載等、国民生活を脅かす犯罪が多発している。さらに政府機関や民間事業者等がサイバー攻撃を受け、国の安全保障に影響を及ぼしかねない社会問題となっている」としている。